

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
1	第三セクター経営改革推進事業	事務事業総合調整室	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により集客を見込めず厳しい経営状況にある第三セクターについて、事業継続に向けた経営診断コンサルティングを実施する。 ②コンサルティング業務委託に要する経費 ③委託費 11,400,000円×1.1=12,540,000円 ④第三セクター事業者（アロマ田沢湖、西木村総合公社、花葉館、西宮家）	東日本大震災以降、集客が回復しないまま今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりさらに厳しい経営状況となった第三セクターの経営継続に向けた経営診断を行い、経営統合も視野に入れた抜本的な経営改革の実施につなげることができた。 令和4年9月1日、経営統合による新会社「おもてなしせんぼく」を設立。 《市民意識調査結果》 コロナに対する取組のうち本事業と関係のある「地域経済の活性化」についての評価は平均値が「0.4」と最も高く「上」となった。	経営統合後の事業再編が必須となっているが、いまだコロナ禍にある状況下のため今後の事業運営を模索している状況となっている。	12,540,000		12,540,000				第三セクター経営改善コンサルティング業務委託 12,540,000
2	行政DX推進事業	事務事業総合調整室	①新型コロナウイルス感染症の拡大により、市役所窓口業務等のリモート対応等の非対面対応を進めるため、行政DX実施計画を策定する。 ②行政DX実施計画策定に要する経費 ③委託費 4,200,000円×1.1=4,620,000円 ④市民	ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた行政DXに取り組むため、基本指針となる行政DX推進計画を策定した。 《市民意識調査結果》 コロナに対する取組のうち本事業と関係のある「感染拡大の防止化」についての評価は平均値が「0.37」と2番目に高く「上」となった。	DXの柱となる「庁内業務のデジタル化」と「市民サービスのデジタル化」による感染症対策として有効な窓口業務等の非対面対応を実現するための財源の確保及び人材の育成が急務となっている。 《市民意識調査結果》 「防災情報を受信する端末として利用しやすい端末」の設問に対する回答として「スマートフォン」が最も多く31.22%となっており、高齢化率の高い仙北市でも市民サービスのデジタル化の需要は高まっている。	4,613,730		4,613,730				仙北市DX推進計画策定支援業務委託 4,613,730
3	仙北市ふるさと応援便事業	企画政策課	①ふるさとへの帰省の自粛を余儀なくされている親族等に生活に必要な物品やふるさとの産品等を送るための送料を全額助成する。 ②県外親族等への物品送料 ③送料 @1,200円×3,700個=4,440,000円 ④市民及び県外に住む親族等	コロナ感染拡大防止のため、ふるさとへの帰省の自粛を余儀なくされている親族等に生活に必要な物品やふるさとの産品等を送るため日本郵便、ヤマト運輸によって、生活に必要な物品やふるさとの産品を2,439件送付し、送料、3,467,192円を助成した。	特になし。	3,467,192		3,467,192				ふるさと産品等送料 3,467,192
4	タクシー事業者支援事業《No.35と同一事業》	企画政策課	①新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に事業収入が落ち込んでいるタクシー事業者に対して車両維持費の一部を助成する。 ②1台あたりの年間維持費200,000円の1/2 ③市内タクシー事業者車両所有台数27台×100,000円=2,700,000円のうち1,900,000円※福祉車両を除く ④市内タクシー事業者《No.35と同一事業》	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に事業収入が落ち込んでいる市内タクシー業者3社、27台の車両に対して車両維持費の一部を助成。廃業や減車を防ぐとともに地域経済全体の支援にもつなげることができた。	特になし。いまだコロナ禍以前に戻る見込みがなく厳しい経営状態が続いている。	1,900,000		1,900,000				角館観光タクシー（9台） 900,000 田沢観光(株)（9台） 900,000 平和観光タクシー（9台） 900,000 うち《No.35》分 △ 800,000
5	秋田内陸線貸切列車等利用促進事業	企画政策課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者が激減している秋田内陸線の利用拡大を図るため、秋田内陸地域公共交通連携協議会が実施する貸切列車やフリー切符等の割引販売事業に対して助成する。 ②事業負担金 ③事業費 7,856,000円×20%（仙北市負担率）=1,571,200円【秋田県50%、仙北市20%、北秋田市30%】 ④秋田内陸地域公共交通連携協議会	秋田内陸線の団体貸切料金やギフト回数券・ワンデーパス等のフリーキップの購入に対し、秋田県、北秋田市と協同して補助することにより乗車促進が図られた。	新型コロナウイルス感染症は、今なお第8波を迎えており秋田内陸線の乗車人数は回復に向かっていない。 感染症が終息するまでの当面の間、乗車促進のための支援のあり方が課題である。	1,571,200		1,571,200				負担金（事業費の20%以内） 1,571,200 ①貸切列車 ②ギフト回数券 ③秋田内陸ワンデーパス・ツーデーパス
6	自動車運転代行事業者支援事業《No.36と同一事業》	企画政策課	①新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に事業収入が落ち込んでいる自動車代行事業者に対して車両維持費の一部を助成する。 ②1台あたりの年間維持費200,000円の1/2 ③市内タクシー事業者車両所有台数9台×100,000円=900,000円のうち800,000円 ④市内自動車運転代行事業者《No.36と同一事業》	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に事業収入が落ち込んでいる市内7社、8台の自動車運転代行事業者車両に対して車両維持費の一部を助成。廃業や減車を防ぐとともに地域経済全体の支援にもつなげることができた。	特になし。いまだコロナ禍以前に戻る見込みがなく厳しい経営状態が続いている。	750,000		750,000				かずくん代行（1台） 100,000 きたうら代行（2台） 200,000 こっちゃん代行（1台） 100,000 華まる代行（1台） 100,000 原ちゃん代行（1台） 100,000 ふじ代行（1台） 100,000 友愛代行（1台） 50,000
7	秋田内陸線イベント列車整備事業	企画政策課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者が激減している秋田内陸線の利用拡大を図るため、秋田内陸縦貫鉄道が実施するイベント列車用車両の改装及び施設整備に対して助成する。 ②事業負担金 ③事業費 25,000,000円×20%（仙北市負担率）=5,000,000円【秋田県50%、仙北市20%、北秋田市30%】 ④秋田内陸縦貫鉄道	秋田内陸線の利用拡大を図るため、秋田内陸縦貫鉄道が実施するイベント列車用車両の改装及び施設整備に対して、秋田県、北秋田市と協同して、観光列車（8808号）の車両の外壁と車内の座席改装、AV装置の設置、ワンマン機器の設置について助成することにより、乗車促進が図られた。	新型コロナウイルス感染症は、今なお第8波を迎えており秋田内陸線の乗車人数は回復に向かっていない。 感染症が終息するまでの当面の間、乗車促進のための支援のあり方が課題である	5,000,000		5,000,000				補助金（事業費の20%以内） 5,000,000 観光列車の車両改装及び施設整備

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
8	秋田内陸線安全対策交付金	企画政策課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者が激減している秋田内陸線について、乗客の安全を確保するための措置に係る経費について支援する。 ②経費負担金 ③事業費 29,515,000円×20%（仙北市負担率）=5,903,000円【秋田県50%、仙北市20%、北秋田市30%】 ④秋田内陸縦貫鉄道	線路延長94.2kmの支障枝・雑草の除去、除雪、電気融雪器の補修維持、車両の検査・修繕、車両や鉄橋等構造物の損害保険料等、安全運行に関わる費用に対し、交付金を交付した。 秋田内陸線がコロナ禍で収益が悪化している中において、安全で安心な運行の確保ができた。	新型コロナウイルス感染症は今なお第8波を迎え、加えて昨今の物価高騰や除雪費用の増加により、秋田内陸線の経営状況は厳しさを増している。 感染症が終息し乗車人数が回復するまでの当面の間、安全運行に関わる経営支援のあり方が課題である。	5,902,000		5,902,000				補助金（事業費の20%以内） 5,902,000 ①施設整備 ②車両設備 ③除雪費 ④保険料
9	疾病予防対策事業費等補助金	保健課	（新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業） ①新型コロナウイルスの感染拡大や重症化を防止する観点から、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者と、基礎疾患を有する検査希望者に対して、行政検査以外での病原体検査費用を助成する。 ②検査費用への助成金 ③検査費用 @18,280円×75件=1,371,000円（LAMP法） ④65歳以上の市民及び基礎疾患を有する市民の	検査体制を整えたことにより、感染への不安解消につながった。 検査件数 11件 @18,280円×10件=182,800円 @11,830円×1件=11,830円 ※検査料金改定 18,280円→11,830円	秋田県の事業である「PCR等検査無料化事業」が実施されているため令和3年度で終了。	194,630	97,000	97,630				補助金（11件） 194,630 国補助 1/2（千円未満切捨）
10	新型コロナウイルス感染症病原体検査費用助成事業	保健課	①新型コロナウイルスの感染拡大や重症化を防止する観点から、検査を希望者に対して、行政検査以外での病原体検査費用を助成する。 ②検査費用への助成金 ③検査費用 @18,280円×25件=457,000円（LAMP法） ④病原体検査を希望する市民	検査体制を整えたことにより、感染への不安解消につながった。 検査件数 24件 @18,280円×24件=438,720円	秋田県の事業である「PCR等検査無料化事業」が実施されているため令和3年度で終了。	438,720		438,720				補助金（24件） 438,720
11	雇用促進助成事業費補助金	商工課	①コロナ禍における新規就業及び定住を促し、市内企業の雇用の安定と活性化を図るため、市内の事業所への新規就業者及び仙北市内に住所を有する50歳未満の者を新規に雇用した市内企業等の事業主に助成する。 ②就業者及び雇用主への助成金 ③個人：@50,000円×15人=750,000円、個人（移住者）：@100,000円×5人=500,000円、企業：@200,000円×2人×20事業者=8,000,000円 ④市内事業所への新規就業者、50歳未満の市民を新規雇用した市内企業	企業14件 3,400,000円 個人21件 1,350,000円 （うち移住者6件 600,000円） 計35件 4,750,000円 （見込額に対する割合51.3%） 市内求職者の新規就業および市内事業所の人手不足解消・採用活動の促進に繋がった。	個人に対しては見込を上回る申請件数があったものの、企業に対しては、見込みを大幅に下回ったため、企業に対する周知が不足していたと感じた。また、当該補助金が就職・採用に直結するとは考えにくく、就職活動および採用活動に対する補助など、経過に対して補助できるような制度設計が必要であると感じた。	4,750,000		4,750,000				補助金（35件） 4,750,000
12	旬の食材流通事業	交流デザイン課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により首都圏との往来が困難な状況が続いていることから、新幹線荷物輸送事業を活用して市内産品の首都圏への輸送に取り組む。 ②輸送実証事業実施に係る委託費 ③委託料 232,496×1.1=255,745円 ④農山村体験推進協議会	○新幹線荷物輸送 7月2日12：57角館駅発 発送個数40個（ミズ、アスパラガス 他5種類） 8月20日10：54角館駅発 発送個数30個（とうもろこし、枝豆 他6種類） 9月10日10：54角館駅発 発送個数30個（原木シイタケ、ネギ 他5種類） →コロナ禍で往来が厳しい状況の中、本事業を通して新聞やテレビなどで取り上げてもらうことで宣伝効果があがり前年対比140%のグリーンツーリズム提供宿泊施設の宿泊者数となった。また翌年より事業者が積極的に同様事業に取り組むという動きがあった。	特になし	251,680		251,680				五感楽農事業（新幹線輸送）に係る委託 251,680
13	プレミアム商品券発行事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる地域経済の需要回復を図るため、プレミアム商品券を発行する。 ②発行総額390,000千円のうちプレミアム分90,000千円（30%）、事務費8,000千円 ③基本額 300,000千円×30%=90,000千円、事務費：商工会への委託費 8,000千円（人件費、印刷費、広告費等） ④全市民	商品券はすべて完売。総換金額は389,352千円（換金率99.8%）、未換金分が648千円となった。未換金分に関しては、実施機関である仙北市商工会の補助期間中の一般管理費に充当した。商品券は日常の買い物に多く利用された。感染対策に対する負担が増加している中で、本商品券はこれらの支出に充当されたことが推測され、対象世帯の生活応援と地域経済の下支えにつながったものと考えられる。 また、取扱店についても428店と前年度実施より28店増加した。	課題として、大型店舗に消費が集中している傾向があり、個人商店の売上への貢献度についても分析が必要。また、時代の流れを考慮し、キャッシュレス決済の導入も検討課題として挙げられた。	98,000,000		98,000,000				補助金（プレミアム分） 90,000,000 補助金（事務費分） 8,000,000

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
14	伝統的工芸品等導入支援事業費補助金	商工課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売り上げが減少している仙北市の工芸品について、秋田県内のホテル・飲食店等が自らの事業に使用するため、仙北市の伝統的工芸品等である「榊細工」「イタヤ細工」「白岩焼」を購入する際の費用の一部を助成する。 ②工芸品購入費への助成金 ③@40,000円×35件=1,400,000円、@80,000円×30件=2,400,000円、@100,000円×5件=500,000円、@150,000円×5件=750,000円、@200,000円×4件=800,000円、@250,000円×3件=750,000円、@300,000円×2件=600,000円、@400,000円×2件=800,000円 ④伝統的工芸品等を購入する県内事業者	交付事業所数は37事業所（市内11、市外26（うち県外6））で、交付額の合計は7,724,000円である。交付限度額40万円を交付した事業所数は12で、最小交付額は44,000円（事業所数1）である。 観光客の減少により、売上が伸び悩んでいる中、市内はもとより、市外事業所にも当市の伝統工芸品を導入いただき、当市伝統工芸品業界の売上の下支えになったことと共に、これら伝統工芸品のPR、販路拡大について大きな成果をもたらした。 交付対象（購入）額：榊細工7,509,160円、イタヤ細工407,364円、白岩焼1,995,800円	販売元が偏ってしまうことはあり得るのだが、販売元間において売上最多と最小の差が500万円もあり、大きな偏りがあった。	7,724,000		7,724,000				補助金（37件） 7,724,000
15	感染予防対策支援事業費補助金	商工課	①仙北市内の事業者が、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために衛生環境整備に取り組むための経費を助成する。 ②施設整備費への助成金 ③@100,000円（上限額）×75件=7,500,000円（助成率2/3以内） ④市内事業者	75事業所、総額7,500千円を見込み、実績として52事業所、3,790千円となった（見込件数に対する割合69%）。 市内でも感染が拡大し、衛生対策に取り組む事業者が多く、前年度実施した同様事業に比べ申請件数の割合は14%増加した。その中でも換気機付きエアコンや空気清浄機（抗ウイルス機能付き）、パーテーションを導入する事業者が全体の63%と多く見受けられた。	どの事業者も感染対策に取り組み、今後同様な事業は需要が少ないかと思われる。	3,790,000		3,790,000				補助金（52件） 3,790,000
16	経済支援対策資金貸付金利子補給	商工課	①新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少し、資金繰りに苦慮している市内中小企業者を対象とした資金融資（マルセコロナ）への金利子補給。 ②借入金の金利子補給金 ③金利子補給率は融資利率の1.0%を超える部分、金利子補給期間10年間：据置期間2年以内（前年度実績額：令和3年2月現在+3月見込み分1,287,000円） ④秋田銀行等（市内企業へ融資した金融機関）	補給額：1,668,241円 件数：75件（うち新規貸付11件） （見込額に対する割合77%） 様々な融資制度が新設される中で、他の融資制度とは別枠で借入が可能であり、またコロナ特別融資として10年間の金利子補給を行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊する市内企業の金利負担の軽減に寄与できた。	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、様々な融資制度が新設・要件緩和されたため、前年度に比べ、新規貸付に対する金利子補給件数が減少した。	160,342		160,342				利子補給金 秋田銀行角館支店 26,266 北都銀行角館支店 80,167 北都銀行田沢湖支店 53,320 羽後信金角館支店 589
17	秋田県経営安定資金金利子補給	商工課	①秋田県経営安定資金のうち新型コロナウイルス感染症対策および危機管理枠の資金融資を受けた市内中小企業者への金利子補給。 ②借入金の金利子補給金 ③金利子補給率は融資利率の1.0%を超える部分、金利子補給期間10年間：据置期間2年以内（前年度実績額：令和3年2月現在+3月見込み分1,875,000円） ④秋田銀行等（市内企業へ融資した金融機関）	危機関連枠 2,094,560円 101件（うち新規貸付10件） （見込額に対する割合97%） 県の支援策として実施されたコロナ融資制度に市の補助として金利子補給を加えることで、さらに手厚い支援をすることができた。	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、様々な融資制度が新設・要件緩和されたため、前年度に比べ、新規貸付に対する金利子補給件数が減少した。	116,867		116,867				利子補給金 秋田銀行角館支店 14,661 秋田銀行田沢湖支店 10,676 北都銀行角館支店 37,066 北都銀行田沢湖支店 15,095 羽後信金角館支店 39,369
18	観光施設維持管理費	観光課	①アフターコロナに向けた新たなアクティビティ施設としてボルダリング施設を整備する。 ②施設整備に係る委託費及び工事請負費 ③施設整備費（案内看板設置含む）3,000,000円×1.1=3,300,000円 ④地方公共団体	初心者から上級者まで幅広い方が利用できるようなホルドの配置を施したことで、家族連れの人から子どもまで、楽しめるアクティビティとなった。 R4本格オープンセレモニー時には80人の利用者を迎え、全国的初の砂防堰堤に付帯するボルダリングウォールとして、また仙北市の新たな屋外施設として注目を集めた。 コロナ禍の教育旅行の形と、夏は涼しく、秋は紅葉が鮮やかな立地から、10校以上の学校利用を受け入れた。	スキー場横を通って、ボルダリングウォールまでアクセスするが、進入口が分かりづらいことが課題となっている。 ホームページや看板等により案内しているが、初めての方は迷いやすい傾向にあるため、更なる周知を図っていききたい。	3,212,550		3,212,550				ボルダリングホールド取付作業委託 2,176,350 ボルダリング看板取付作業委託 1,036,200
19	プレミアム観光支援事業	観光課	①新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んでいる観光消費喚起のため、市内でのお土産購入時に使用できるプレミアムお土産券を発行する。 ②お土産券発行事業に係る委託費 ③委託費 35,808,000円（お土産券@300円×10,000枚=30,000,000円、プロモーション経費1,650,000円、お土産券印刷費 330,000円、諸経費 3,498,000円、オンライン販売送料 330,000円） ④秋田県民	令和3年7月22日から11月30日の販売・利用期間であった。利用実績も100,000枚に対し、86,983枚となった。 ●お土産券利用枚数：86,983枚 また、受託業者のホームページ内にオンラインショッピングサイトにて条件付きで送料無料キャンペーンも実施した。 ●利用件数：355件 コロナ禍による観光入込客数の減少に伴い、苦境に立たされていた市内土産物店への一助となった。	販売開始の7月22日からは順調に推移していたが、8月から市内の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、販売のペースが鈍化した。PRを当初の想定より強化したことや、10月以降の紅葉シーズンで販売のペースは回復したが、完売には至らなかった。令和2年度に同様の事業を実施した際は、事前申し込みで往復はがきを使用していたが、本事業から市内の販売箇所で購入していただく流れとした。申し込みから購入に至るまでお客様の負担は以前に比べ軽減できたものの、購入者情報の集計等に係る受託業者の負担等が依然多く感じた。また、加盟店舗は多くあったものの、利用率としては市内の主なお土産処などに偏る傾向であった。	31,648,896		31,648,896				プレミアム充当費 26,094,900 プロモーション、印刷等経費 2,202,838 運営管理費 3,090,722 オンライン販売送料 260,436

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
20	スマートな観光アクセス促進事業	観光課	①コロナ禍におけるタクシー利用時のキャッシュレス決済への誘導を図るため、キャッシュレス決済によるタクシー利用者の運賃を助成する。 ②運賃補助及び事業周知用チラシ作成に係る経費 ③チラシ作成費 27,500円、運賃補助 623,805円 (4月～9月は前々年度の2倍、10月以降は前々年度実績の利用者数で積算) ④キャッシュレス決済によるタクシー利用者	乗車人数：78人 運行回数：42台 運賃補助額：91,250円 (QR決済補助実績：65,000円、現金決済補助実績：26,250円) QR決済での割引等、先進的な取り組みであったが、新型コロナウイルス感染症の影響が想定より長期化したことにより利用は低迷した。	本事業は、非接触型の決済方法を取り入れた乗合タクシーを運行するものだったが、実際に令和3年度の運行回数は42台と少なく、そのうち松葉駅一むらっこ物産館間の運行台数は0台であった。 需要のあるルートの選定や、周知が行き渡っていなかったことも要因と考えられる。	106,400		106,400				チラシ印刷（2,000枚） 20,900 周遊タクシー運行業務委託 85,500
21	観光イベントのコロナ安全対策事業	観光課	①コロナ禍における観光イベント開催について、安全・安心に行うため、感染防止対策を実施する。 ②備品購入費 ③ウォークスルー型検温器 @450,000円×4セット×1.1=1,980,000円、タブレット型検温器 @190,000円×2セット×1.1=418,000円、タープテント @30,000円×6セット×1.1=198,000円、タープテント用ウェイト @6,000円×6セット×1.1=39,600円 ④地方公共団体	ウォークスルー型検温器 @450,000円×4セット×1.1=1,980,000円 非接触式体温検温器 @85,800円×2台×1.1=188,760円 上記2件を購入の上、角館の桜まつりでは市内複数カ所にて検温所を設営、人流抑制の交通誘導員も配置し、万全なコロナ対策を市内外にPRすることで、令和3年度桜まつりには342,000人もの観光客が訪れた。 このほか、角館祭りのやま行事や、刺巻ミズバショウ祭り、その他の小規模イベントにて活用した。	検温器の設置場所によっては、正確に検温出来ないケースがあったが、テントとの併用や設置場所を工夫することで性能を発揮することが出来た。	2,168,760		2,168,760				ウォークスルー検温器セット 1,980,000 非接触体温検知器 188,760
22	観光トイレのコロナ安全対策事業	観光課	①市内公衆トイレの手洗い蛇口を自動水栓設備に取り換え、手洗いの非接触化を推進し、利用者の感染防止対策を図る。 ②施設整備に係る工事請負費 ③自動水栓化工事 @79,000円×19箇所=1,501,000円 ④市内公衆トイレ	田沢湖地区 3施設12箇所 748,000円 角館地区 2施設7箇所 429,000円 市内公衆トイレの手洗い蛇口を自動水栓化し、蛇口の非接触化を行ったことにより、利用者の感染防止対策を図った。	手洗い蛇口の自動水栓化により、非接触化することができたが、トイレ洋式化の課題が残る。 洗浄時の飛沫防止の観点から今後整備が必要と考えるが、仙北市公共施設等総合計画との兼ね合いの考慮しながら、関係部署と協議していきたい。	1,177,000		1,177,000				手洗い蛇口自動水栓化工事 田沢湖地区（3箇所） 748,000 角館地区（2箇所） 429,000
23	2021仙北市プレミアム宿泊支援事業	観光課	①仙北市内の宿泊施設に宿泊する際に利用できる、県民割や秋田県プレミアム宿泊券と併用可能な県民向け割引券の発行。 ②宿泊券発行事業に係る委託費 ③委託費 21,345,090円 (割引額 3,000円×6,000人=18,000,000円、プロモーション経費 780,000円、はがき代 @63円×6,000枚×1.1=415,800円、その他諸経費 2,149,290円) ④秋田県民	令和3年7月22日から12月31日の期間で事業実施。宿泊券を販売するのではなく、当選者への割引券を配布した。夏と秋の2回に分けて実施し、どちらも応募倍率5倍以上と、非常に好評であった。双方共に新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令期間と重複したため利用率は8割程度に留まったものの、コロナで落ち込んだ市内宿泊客の増加に寄与した。 ●夏 応募総数：9,184名 清算枚数：2,562枚 ●秋 応募総数：7,652名 清算枚数：2,336枚	利用期間は夏が7月22日～12月31日、秋が10月1日～2月28日であった。どちらも応募倍率が5倍以上あり、事前の申し込みも本事業から専用のwebフォームからの申し込みであったため、申し込みのハードルが低く、応募件数が伸びた可能性もある。また、加盟している宿泊施設は多くあったものの、利用率としては市内の有名所に宿泊されるお客様が多く目立ち、加盟はしているものの本事業を利用して宿泊されるお客様が少ない宿もあった。	17,972,220		17,972,220				プレミアム充当費 14,694,000 プロモーション経費 1,132,800 はがき代 378,000 運営管理費 1,767,420
24	角館の桜まつり事業費補助金	観光課	①角館の桜まつりの開催に向け、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を実施する。 ②感染予防対策に係る実行委員会への補助金 ③誘導看板代 387,500円、啓発用チラシ印刷代 150,000円、メッセージボード 33,000円、トイレ設置アルコール 36,000円、スプレーボトル 17,600円、非接触式検温器 44,000円、マスク 6,600円、ハンドソープボトル 9,600円、ハンドソープ詰替 8,800円、カラーコーン 30,000円、バー 20,000円、簡易テント 118,800円、簡易机 61,600円、音声案内用CD 44,000円、広場消耗品 10,000円、誘導員増員 1,716,000円、事務費 30,000円、諸経費 94,500円 ④角館の桜まつり参加者	誘導等看板代 438,020円、啓発用チラシ印刷代 572,220円、メッセージCM 33,000円、トイレ設置アルコール 42,396円、スプレーボトル 24,430円、非接触式検温器 78,990円、ハンドソープボトル 7,924円、ハンドソープ詰替 4,670円、カラーコーン 59,600円、バー 19,750円、簡易テント 114,880円、広場消耗品 67,823円、誘導員増員 1,089,000円、諸経費 297,256円 角館の桜まつりでは市内複数カ所にて検温所を設営、人流抑制の交通誘導員も配置し、万全なコロナ対策を市内外にPRすることで、令和3年度桜まつりには342,000人もの観光客が訪れた。	誘導看板だけを設置したエリアでは人流抑制が効かない部分も見られたため、看板及び人員配置を見直し、看板だけでなく、人員と併せることで確実な効果が認められた。	2,849,969		2,849,969				補助金 スポット宣伝 33,000 交通規制図・チラシ印刷代 572,220 看板代（コロナ対策） 438,020 作業員賃金、施設消耗品 100,060 トイレ清掃委託 297,256 交通誘導・警備（増員分） 1,089,000 事務消耗品（コロナ対応） 320,413
25	角館の桜まつり事業費補助金	観光課	①角館の桜まつりの開催に向け、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を実施する。 ②感染予防対策に係る実行委員会への補助金 ③休日警備（検温） @16,500円×9人×8日 = 1,188,000円、夜間警備 @13,000円×2人×16日 = 416,000円、ライブ配信経費 1,574,100円 ④角館の桜まつり参加者	休日警備（検温） 1,287,000円、ライブ配信経費 1,152,800円 角館の桜まつりでは市内複数カ所にて検温所を設営、人流抑制の交通誘導員も配置し、万全なコロナ対策を市内外にPRすることで、令和3年度桜まつりには342,000人もの観光客が訪れた。 また、ライブ配信を期間中の3日間実施。約1,000名の視聴があり、コロナにより直接旅行しなくても出来ない方々に見てもらうことができた。	ライブ配信に関しては、極力訪れた観光客の顔が映りこまないように配慮する必要があり、それを考慮すると配信出来るエリアやアングルが限定されてしまった。 結果的に配信は実施できたが今後ライブ配信を実施する際はこの経験を踏まえて場所選びを実施したい。	2,439,800		2,439,800				補助金 オンライン配信費 1,152,800 検温所・誘導対応・警備委託 1,287,000

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
26	新型コロナウイルス感染症対応宿泊施設等受入態勢整備促進事業	観光課	①新型コロナウイルス感染症の影響による新たな旅行スタイルに対応するため、事業者が実施するコロナ対策に対して支援する。 ②施設整備費用への補助金 ③県事業支援型：@2,500,000円（上限額）×6件＝15,000,000円、@1,176,000円×1件＝1,176,000円（県補助額の1/2相当）、小規模整備型：@1,000,000円（上限額）×5件＝5,000,000円（総事業費の1/2） ④市内事業者	○実績 ・県事業支援型7件 16,176,000円 ・小規模整備型2件 1,051,000円 内訳（複数実施の場合も有り） ・リモートワーク等に対応したワークスペースや通信環境の整備 3件 ・家族・小グループの長期滞在に適した客室や貸切風呂等の整備 5件 ・企業の研修受入に対応した多目的スペースや食事処の整備 2件 ・施設内におけるトイレ蓋の自動開閉や蛇口の自動水栓など非接触対応設備の整備 2件 ・コロナ対策を目的とした換気設備等の整備 0件 ・その他（非接触型アトラクション）1件 ○成果 ・市内事業者より9件の申請があり、各々の目的に沿った整備が出来た。秋田県の補助と同じく申請している事業者が多く、各施設が考える利用者のニーズに合わせ、取り組むことが出来たと感じている ・改修にあたり、家族・小グループの長期滞在に関する客室や貸切風呂の整備を行った事業者より、予約数の増加が見られたと報告があった。（前年比1.1倍）コロナの影響により、他人との接触を受ける事なく、滞在することが出来る事が出来るメリットが大きいと感じているようだ。	○問題点 ・申請方法や補助金額に関しては特に問題はなかった。周知期間についても同様であった。 ○課題 ・リモートワークに適した通信環境やワークスペースの整備を整備したが、宿泊まで至っていない。大手企業ではリモートワークが継続されているが、家族を連れてワーケーションまでの動きが見られない。 ・インバウンド向けに個室の整備をしたが、インバウンドがコロナ前まで回復していないと感じる。 ・コロナ対策として客室や通信環境等を整備したが、客単価をいかに上げていくかが課題。客室や貸切風呂などは目に見えて利用者もわかりやすく単価を上げやすいが、受入体制や通信環境、トイレを整えても単価を上げにくい。	17,227,000		17,227,000				補助金（9件） 17,227,000
27	修学旅行費支援事業費補助金	学校教育課	①市内小中学校が実施する修学旅行について、貸切バス対応や日程変更、キャンセルなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるための経費を支援する。 ②貸し切りバス対応、日程変更・キャンセルにより発生する費用への補助金 ③貸切バス対応による負担増分 247,049円、日程変更・キャンセル料 2,253,951円 ④市内小中学校	実績としては、小学校6校中3校、中学校5校中4校に対して修学旅行の日程変更やキャンセルによって発生した費用を補助した。また、小学校2校、中学校2校に対して新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての貸切バスに係る費用を補助をした。 成果としては、新型コロナウイルス感染症の感染状況により突発的に発生したキャンセル料等の費用や感染拡大防止策としての貸切バス代を補助することにより、保護者の負担軽減に貢献した。	首都圏、主要都市等、新型コロナウイルス感染症が拡大している地域への修学旅行を計画していたために、多くのキャンセル料が発生した。	2,424,412		2,424,412			補助金（キャンセル料） 生保内中学校 395,677 神代中学校 403,949 角館中学校 1,288,119 桧木内中学校 70,506 神代小学校 42,900 白岩小学校 11,550 西明寺小学校 41,250 補助金（貸切バス負担増） 西明寺中学校 27,118 桧木内中学校 60,852 白岩小学校 45,195 桧木内小学校 37,296	
28	GIGAスクール構想推進事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校が児童生徒の学ぶ機会を阻害しないよう、切れ目ない学習環境を提供するためGIGAスクール構想事業と連携するために導入した生徒用タブレット端末の有効活用を図るためのサポート支援を行う。 ②サポート支援業務委託費 ③生徒用タブレット端末の有効活用を図るためのサポート支援業務委託 2,530,000円（国補助1/2を除く） ④市内小中学校	GIGAスクール構想事業と連動し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、オンライン授業等を実施する。GIGA端末及びシステムを有効に活用するため、教職員へ研修を実施した。さらに、ヘルプデスクを設け、疑問質問に対応した。 今年度は主に新しく当市へ赴任した教職員が研修に参加し、昨年度研修を受けた教職員との知識差を埋めることができた。 さらに、ヘルプデスクでは質疑応答のほか、利用する教職員間のシステムに関する情報交換や意見交換など幅広く活用があった。 ・研修参加人数：28人 ・ヘルプデスク利用回数：70回	・生徒用端末は配備したが、教職員はウィンドウズ端末を使用しているため、同様の画面構成ではないことから指導しづらい問題がある。 ・GIGA端末及びそのシステムをさらに有効活用するため、より中、上級者向けの研修を実施し教職員の活用スキルを高める必要がある。	4,961,000	2,480,000	2,481,000			サポーター業務委託 4,961,000 国補助1/2（千円未満切捨）	
29	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	（感染症対策等の学校教育活動継続事業） ①市内小中学校において新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にしながら十分な教育活動を継続するため、学校における感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。 ②感染症対策にかかる費用（需用費、備品購入費等） ③小中学校（1校あたり上限額@800,000円×10校）+（1校あたり上限額@1,200,000円×1校）＝9,200,000円 ※角館小学校のみ児童数が多いため補助基本額が1,200,000円 ④市内小中学校	各学校において、体温計や空気清浄機等の備品、除菌アルコール等日常的に必要な消耗品を購入し、新型コロナウイルスの感染対策を促進した。	・児童生徒の感染症対策のため、玄関先に設置する体温計や消毒液、教室へのパーティションが配備できたが、職員室の感染対策備品が不足している。 ・除菌アルコールやウェットタオル等消耗品は日常的に多く消費されるため、次年度以降も継続して購入する必要がある。	9,130,414	4,565,000	4,565,414			小学校消耗品購入 2,284,688 小学校備品購入 2,885,630 中学校消耗品購入 2,389,516 中学校備品購入 1,570,580 国補助1/2（千円未満切捨）	

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
30	給食費減免	総合給食センター	①新型コロナウイルス感染症の影響により経済的負担増が見込まれる子育て世帯を対象にした給食費減免 ②令和3年7月1日から11月30日の給食費 ③給食費 【小学校6校】@283円×917人×62日＝16,089,682円 【小学校6校】@283円×913人×10日＝2,583,790円 【中学校5校】@319円×580人×72日＝13,321,440円 ④小中学校の子どもがいる世帯	年間計画給食数、小学校190食、中学校185食のうち、約1/3の期間の給食費保護者負担分を減免したことで、新型コロナウイルス感染症の影響により困難していた子育て世帯の経済的負担軽減を実現した。	特に問題はなく、滞りなく実施できた。同様の交付金を活用し、負担軽減を望む声もあるが、財源の確保が課題となっている。	28,570,007		28,570,007				小学校（6校：60,173食） 17,012,057 中学校（5校：36,276食） 11,557,950
32	仙北市経営維持支援金給付事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している市内の中小企業及び個人事業主に対する支援金給付 ②直近決算期の年間売上が「前年度」又は「前々年度」の年間売上と比較して20%以上減少している事業者に10万円を給付 ③1事業者100,000円×1,010事業者＝101,000,000円 ④市内事業者（中小企業者、個人事業主、旅館等・飲食店等営業者） 【その他要件】 ・仙北市内に事業所を有する事業者等 ・直近決算期の年間売上が「前年度」又は「前々年度」の年間売上と比較して20%以上減少している事業者 ・暴力団等、風営法事業者、政治団体、宗教団体でないこと	1,010事業所、総額101,000千円を見込み、実績として561事業所、56,100千円となった（見込件数に対する割合55%）。 長引くコロナ禍で疲弊する市内事業者に対して職種限定せず行ったことで、多種多様な職種の経営の下支えとなった。	申請書に添付する書類が多く、また、書類が多い分審査や聞き取り調査に時間を費やし交付が遅れるケースが散見された。 申請の簡略化、オンライン申請等を検討。	56,100,000		56,100,000				補助金（561件） 56,100,000 ※通常分 19,252,000 ※事業者支援分 36,848,000
33	新型コロナウイルス感染症対策事業《No.37と同一事業》	総合防災課	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、市民の出入りが多くなる市庁舎、公共施設（第3セクター含む）、避難所での感染症防止対策に必要な消耗品を購入する ②マスク、消毒用アルコール、ハンドソープ、パーテーション、施設内消毒時に使用する消耗品購入費 ③備蓄用マスク@1,100円×489箱＝537,900円、備蓄用アルコール消毒剤@7,370円×50缶＝368,500円、パーテーション（@737円×172枚）+（@1,232円×134枚）＝291,852円、キッチンペーパー@278円×2本＝556円、ゴミ袋（@298円×8セット）+（@398円×1セット）＝2,782円、スプレーボトル@198円×108本＝21,384円、ぞうきん@298円×1セット＝298円、タオルハンガー@1,480円×1基＝1,480円、バケツ@348円×1個＝348円、ハンドソープ（@298円×6本）+（@166円×25本）＝5,938円、ビニール手袋（@940円×4セット）+（@998円×3セット）＝6,754円、レジ袋@3円×3枚＝9円、ポリ蛇口@220円×10個＝2,200円、除菌アルコールタオル@950円×10箱＝9,500円 ④市役所（庁舎内各課室内）、公共施設（第3セクター含む）、避難所 《No.37と同一事業》	大規模な集団感染は見受けられなかったため、来庁者及び職員に対して、一定の感染防止効果があったと考える。	全ての来庁者へ、発熱などの体調不良を把握することが出来るかが課題である。併せて、来庁者の手指消毒の徹底を周知できるかも課題である。	883,299		882,501			798	消毒用アルコール 444,664 パーテーション 291,852 キッチンペーパー 556 ゴミ袋 3,376 スプレーボトル 39,504 ぞうきん 298 タオルハンガー 1,480 バケツ 348 ハンドソープ 2,784 ビニール手袋 15,292 レジ袋 9,925 ポリ蛇口 2,200 アルコールタオル 70,222 補助対象外経費（計画書未掲載） ウォータージャグ 798
34	主食用米作付農家支援事業費補助金	農業振興課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、米の消費が大幅に減少し、令和3年度産の概算金が大幅に下落したことを受け、影響を受けている稲作農家を支援するため補助金を交付する。 ②令和3年主食用米面積が30a以上の農家を対象に、飯米相当分の10aを控除した面積に仙北市の基準単収の557kgを乗じ、60kg（1俵）で除した数量を交付対象数量として、1俵あたり200円を交付する。交付対象数量算出時の1俵未満の端数は切り捨てとする。 ③交付対象数量216,326俵×@200円＝43,265,200円 不足分の増額補正930,000円 ④市内主食用米作付農家	市内主食用米生産者955件の総生産量（概算）220,979俵に対し、1俵あたり200円を支援した。 新型コロナウイルスの影響で主食用米の需要が落ち込み、1俵あたり2,000円程度価格が減少した。当該補助金により新型コロナウイルス感染症の影響による米価下落対策として、市内主食用米生産者の経営安定に寄与したと考えられる。	本事業では、当年産の収入減少緩和への寄与が主な事業効果と考えているが、恒常的な主食用米の消費減少等、新型コロナウイルスの影響による要因に対しても、積極的にアプローチしていく必要がある。	44,195,800		34,752,230			9,443,570	補助金（10件） 44,195,800 うち一般財源対応分 9,443,570

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費	国庫補助額	交付対象 経費	起債予定額	その他	補助対象外 経費	経費内訳
35	タクシー事業者支援事業《No.4と同一事業》	企画政策課	①新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に事業収入が落ち込んでいるタクシー事業者に対して車両維持費の一部を助成する。 ②1台あたりの年間維持費200,000円の1/2 ③市内タクシー事業者車両所有台数27台×100,000円=2,700,000円のうち800,000円 ※福祉車両を除く ④市内タクシー事業者《No.4と同一事業》	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に事業収入が落ち込んでいる市内タクシー業者3社、27台の車両に対して車両維持費の一部を助成。廃業や減車を防ぐとともに地域経済全体の支援にもつなげることができた。	特になし。いまだコロナ禍以前に戻る見込みがなく厳しい経営状態が続いている。	800,000		800,000				角館観光タクシー（9台） 900,000 田沢観光(株)（9台） 900,000 平和観光タクシー（9台） 900,000 うち《No.4》分 △ 1,900,000
36	自動車運転代行事業者支援事業《No.6と同一事業》	企画政策課	①新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に事業収入が落ち込んでいる自動車代行事業者に対して車両維持費の一部を助成する。 ②1台あたりの年間維持費200,000円の1/2 ③市内タクシー事業者車両所有台数9台×100,000円=900,000円のうち100,000円 ④市内自動車運転代行事業者《No.6と同一事業》	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に事業収入が落ち込んでいる市内7社、8台の自動車運転代行事業者車両に対して車両維持費の一部を助成。廃業や減車を防ぐとともに地域経済全体の支援にもつなげることができた。	特になし。いまだコロナ禍以前に戻る見込みがなく厳しい経営状態が続いている。	0		0				かずくん代行（1台） 100,000 きたうら代行（2台） 200,000 こっちゃん代行（1台） 100,000 華まる代行（1台） 100,000 原ちゃん代行（1台） 100,000 ふじ代行（1台） 100,000 友愛代行（1台） 50,000 うち《No.6》分 △ 750,000
37	新型コロナウイルス感染症対策事業《No.33と同一事業》	総合防災課	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、市民の出入りが多くなる市庁舎、公共施設（第3セクター含む）、避難所での感染症防止対策に必要な消耗品を購入する ②施設で従事する職員等の簡易検査キット購入費 ③簡易検査キット@18,900円×8セット×1.1=166,320円 ④市役所（庁舎内各課室内）、公共施設（第3セクター含む）、避難所《No.33と同一事業》	大規模な集団感染は見受けられなかったため、来庁者及び職員に対して、一定の感染防止効果があったと考える。	全ての来庁者へ、発熱などの体調不良を把握することが出来るかが課題である。併せて、来庁者の手指消毒の徹底を周知できるかも課題である。	249,480		249,480				簡易検査キット 249,480
合計						377,287,368	7,142,000	360,701,000	0	0	9,444,368	